

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

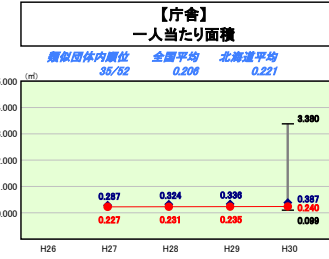
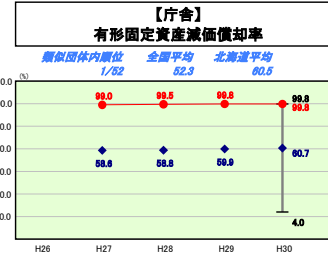
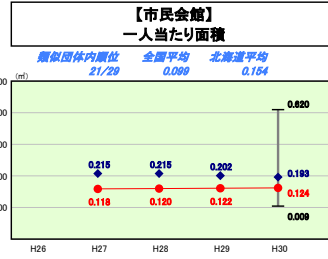
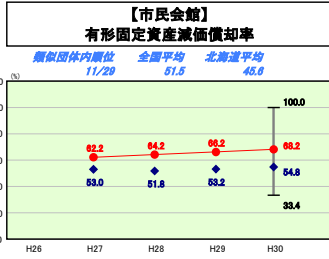
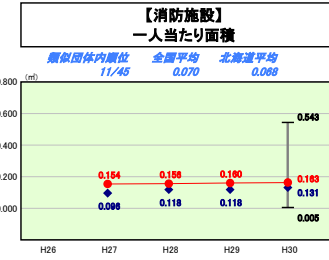
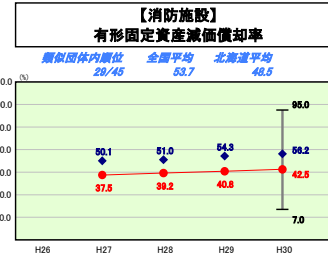
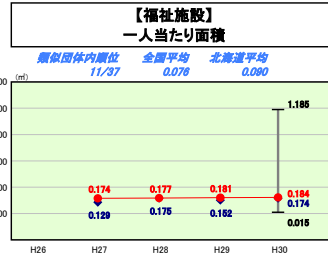
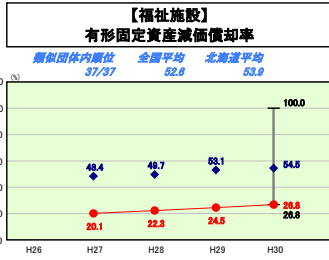
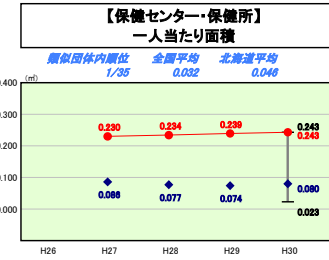
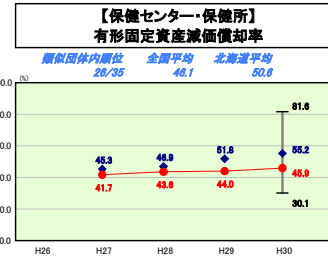
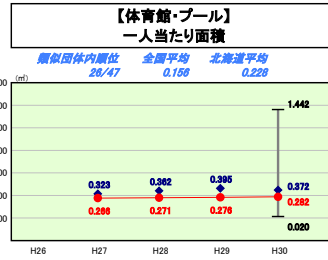
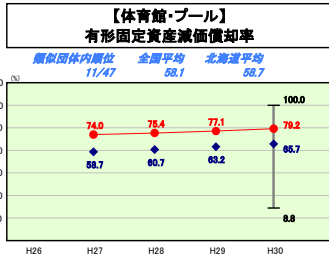
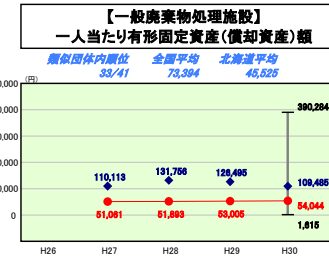
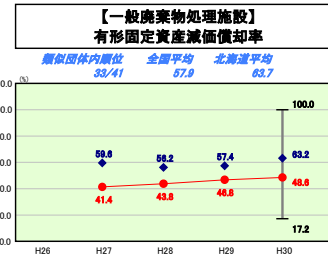
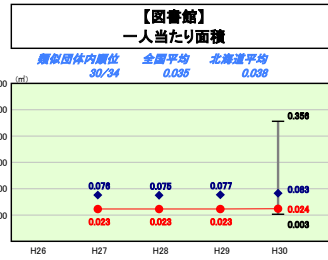
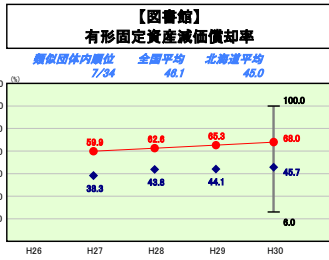
平成30年度

北海道白老町

人口	16,981人(031.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	16,816人(031.1.1現在)	道創実質赤字比率	-%
世帯数	425.64千戸	実質公債費比率	14.9%
歳入総額	11,982,456千円	将来負担比率	68.3%
歳出総額	11,338,937千円	市町村類型	H26 IV-2 H27 IV-2 H28 IV-2
実質収支	629,949千円	(年度毎)	H29 IV-2 H30 IV-2
標準財政規模	6,195,282千円		
地方債残高	10,232,783千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析

図書館・体育館・プール・庁舎等について、北海道平均を上回っている。これも建設後から相当の年数がたっており、老朽化が進んでいることが要因であることから、施設の劣化状況・維持管理状況・利用実態等を調査し、その結果等に基づき改修の優先順位の決定が必要となる。また、福祉施設や消防施設は北海道平均を下回っている。町民が安全安心に利用できる公共施設を継続的に提供していくために、また、これらの現状を的確に把握するためにも、長寿命化改修の方針を定めることが重要であると捉える。当該建築物個別施設計画の策定に着手することが望ましいと分析する。